

まちかど未来塾 だより



5月(May)

	mon	tue	wed	thu	fri	sat
	4月29日	4月30日	1	2	3	4
第1週	ゴールデンウィーク 6日まで					
	6	7	8	9	10	11
第2週		塾、スタート		親カフェふらっと 10:00~12:00		
	13	14	15	16	17	18
第3週						
	20	21	22	23	24	25
第4週		小平市協働事業報告会 中央公民館14:00~16:30				
	27	28	29	30	31	
第5週						

今月はテキスト代金が加算されています。よろしくお願いいたします。



Mirai Letter 75



「東京大学名誉教授 上野千鶴子氏 祝辞」

上野先生は社会学者でフェミニズムの研究者でもあります。先生のフェミニズムの捉え方として「弱いものが弱いものままで尊重されることを求める思想:弱者が強者になりたい、という思想ではない」という表現に発達支援の在り方を重ねたことがあります。

その上野先生の祝辞でしたので、興味深く全文を読みました。ここからは祝辞の一部を紹介させていただきます。(女性差別の内容には触れませんが、)

あなたたちは頑張れば報われると思ってここまで来たはずですが、頑張ってもそれが公正に報われない社会があなたたちを待っています。「頑張ったら報われるとあなた方が思える事、そのものがあなた方の努力の成果ではなく、環境のお陰だったこと」を忘れないようにしてください。

その中には頑張っても報われない人、頑張ろうにも頑張れない人、頑張りすぎて心と体を壊した人たちがいます。頑張る前から「どうせ私なんて、、、」とその意欲をくじかれる人たちもいます。

「あなたたちの頑張りをどうぞ自分が勝ち抜くためだけに使わないで下さい。恵まれた環境と恵まれた能力を他者を助けるために使ってください。そして強がらず、自分の弱さを認め、支え合って生きて下さい。」

「発達支援」と重ね合わせると「頑張る前から、どうせ私なんて、、、」とその意欲をくじかれる人たちに注目してしまいます。「どうせ私なんて、、、」と最初から諦めてしまう、そんな気持ちを抱く人たちはきっと自尊心が育ってきていない、成功体験や褒められてきていない～環境が整ってなかったのだろう、と察してしまいます。環境が整わないと「頑張りたくても頑張れない」(環境とは:良き理解者やお手本になる大人たちに出会えなかった)～先生が提唱するフェミニズム「弱いものがそのまま尊重される」～そんな社会であつたら「どうせ私なんて、、、」とその意欲をくじかれる人はいなくなるのでしょうか...自分の弱さを認めて頑張れる人もそうでない人も支え合って生きれる...社会に根付くいろいろな差別に対するメッセージだったように感じました。(T.lmou)